
ReUai Nika

DECENTRALIZED SPATIAL MEDIA NETWORK

実店舗の「余白」をメディア化する、オンデマンド空間マッチングプラットフォーム

ReUai Nika

OFFICIAL SERVICE PROSPECTUS — COMPREHENSIVE GUIDE

OFFICIAL RELEASE

リテールにおける価値逆転のパラダイムシフト

EC技術の発展とデジタルシフトが極限まで進む現代、物理空間の役割は劇的な変化を遂げています。実店舗は「商品を決済する場所」から、純粋な「文脈のある出会いと発見の場（Discovery & Context）」へと再定義されています。

オンラインの完全化がもたらす物理空間の真価

あらゆるプロダクトがネット上で瞬時に閲覧・購入でき、高精細なビジュアルやデータによってデジタル上での擬似体験が完成される時代、ただモノを置いて売るだけの「売場」としての実店舗の存在意義は相対的に薄れていきます。しかし、すべてが記号化・アルゴリズム化されたデジタル空間が進むからこそ、リアル空間だけが提供できる価値が決定的な重要性を持つようになります。

それは、その空間が長年かけて培ってきた「**特有の世界観（Vibe）**」であり、予測不可能な「**偶然の出会い（セレンディピティ）**」、そして人と空間が織りなす「**文脈（コンテキスト）のある熱狂**」です。現代の消費者は、単に物理的なモノを買いに行くために街へは出かけません。心地よい音楽が流れ、信頼できるオーナーや店主が佇むカフェ、洗練されたヘアサロン、厳選されたセレクトショップといった「空間が持つ世界観」に没入し、その時間を楽しむために訪れます。

ReUai Nikaは、このリテールにおける最大の価値逆転に着目したプラットフォームです。消費者が最もリラックスし、その空間の世界観に深く共鳴している瞬間に、自然な形でプロダクトを溶け込ませる。これにより、ノイズとして嫌われがちなWeb上のバナー広告やSNS広告とは全く異なる、生活者のライフスタイルに深く深く突き刺さる「純度の高いブランド体験」を結実させます。

アセットライトな「分散型空間ハック」という革新

これまでのリテール進出やポップアップストア運営は、自社で多額の資金を投じて一等地に物件を借り、内装を施し、専属スタッフを雇用する中央集権的なモデルが主流でした。しかしこの手法は、莫大な固定費リスクを伴い、一部の限定的な資金力を持つ大企業しか参入できない構造的な障壁がありました。

ReUai Nikaは、世界中にすでに存在し、すでに地域の人々に愛されて自走している無数の魅力的な実店舗の「余白（デッドスペース）」を、インターネットを介して分散型にネットワーク化します。不動産リスクや家賃、人件費の負担を1円も負うことなく、他者の洗練された資産をハックして街中に無数のショールームを構築する。これが、私たちが提示するまったく新しいアセットライトな空間ハックインフラです。

既存ポップアップ・空間活用の構造破壊

従来のリアル出店手法やショールーミング化（RaaS）の試みは、コスト、手続き、柔軟性の面において多くの致命的な課題を抱えていました。ReUai Nikaは、ソフトウェアによる最適化で、これらの摩擦を根本から解決します。

なぜ、これまでのリアル出店は非効率だったのか

実店舗をマーケティングの場として活用しようとする試みは過去にも存在しましたが、その手続きは極めてアナログでした。EC事業者が自社に合うカフェやサロンを見つけるためには、泥臭い現地調査、DMや電話による個別の突撃交渉、数ヶ月に及ぶ条件調整や契約書のやり取りが必要でした。さらに、数週間のポップアップのために多額の敷金・礼金や、什器の持ち込み費用、現場を運営する人件費が発生し、効果測定も「なんとなくの売上」や「来店者数」という不透明なデータでしか評価できないという問題がありました。

ReUai Nikaが実現する、摩擦ゼロの空間流通

私たちは、これまでブラックボックスだった店舗の「余白」をデジタルデータ化し、Webの管理画面からオンデマンドで検索・指名買いただける環境を提供します。Host（店舗側）は本業の家賃をすでに支払っているため、ReUai Nikaを通じて提供される出店スペースは「純利益率100%の新たな収入源」となります。この歪みを突くことで、Brand（EC側）に対して、従来の商業施設の常識を破壊するほどの低コストと高い柔軟性を兼ね備えた、スマートなリアル進出チャネルを解放することに成功しました。

比較項目	従来の出店（ポップアップ・商業施設）	ReUai Nika による空間利用
固定費・初期コスト	敷金、礼金、什器工事費、専属スタッフ人件費など、数十万～数百万円の莫大な初期投資。	初期費用は完全無料。スペースごとに設定された明瞭な月額/週額の出店料のみ。
出店手続きとリードタイム	個別の物件開拓、対面での交渉、複雑な不動産契約書の締結により、数ヶ月の準備期間。	プラットフォーム上で理想の空間を検索し、数クリックで申請。最短数日でリアル展示開始。
契約の柔軟性	数ヶ月～数年単位の長期縛り契約が一般的。一度出店すると途中で撤退が困難。	週単位、月単位でのスポット出店に対応。季節や新商品ローンチに合わせた機動的な運用。

比較項目	従来の出店（ポップアップ・商業施設）	ReUai Nika による空間利用
空間の多様性と文脈	自社で借りた無機質な箱。世界観を一から構築する必要があり、ノウハウが必要。	独自のカルチャーと常連客を持つ、個性豊かな既存店舗の洗練されたVibeをそのまま借用。

HostとBrandへ提供する双方向の価値体験

ReUai Nikaは、空間を提供する側と活用する側の双方が抱える根深い課題を、洗練されたユーザー体験によって美しく解決・相殺し合う、相互補完的なエコシステムを構築しています。

FOR STORE HOSTS

Host：店舗アセットの最大効率化と防衛

実店舗の運営は、常に家賃や光熱費などの「重い固定費」との戦いです。ReUai Nikaは、店内のわずかな「デッドスペース（棚の一画、カウンターの片隅、壁面）」を、稼働率100%の収益資産へと変貌させます。

- **本業を妨げないゼロ・オペレーション：**在庫を仕入れるリスク、商品のための特別な接客、レジ対応や配送の手間は一切発生しません。届いた商品を美しく並べるだけで完結します。
- **完全承認制による店舗アイデンティティの保護：**どんなブランドでも出店できるわけではありません。Hostは、届いた申請のプロダクトやブランドの世界観を精査し、自店のお客様が喜ぶと判断したものだけを厳選して受け入れることができます。
- **1タップで完結する利潤獲得：**複雑な請求業務や入金確認は不要。アプリ上で「承認」を押すだけで自動的に決済が成立し、スマートに口座へ売上金が分配されます。

FOR EC BRANDS

Brand：Web広告を超えた新しい顧客獲得

デジタル広告のプライバシー規制強化に伴い、オンラインでの顧客獲得単価（CPA）は高騰を続けています。ReUai Nikaは、ターゲットが息づくリアルな日常空間に、ダイレクトに割り込むアプローチを可能にします。

- **極めて鋭いコンテキスト・ターゲティング：**年齢や性別といった単純なデータだけでなく、「特定のテイストの音楽を好み、特定のライフスタイルを愛する人々が集まる空間」を選び、自社商品をピンポイントで露出。
- **出店リスクを最小化するスマートな支払い：**長期の縛りや不明瞭な保証金は一切なし。クレジットカードを用いたシンプルな月額/週額決済で、テストマーケティング感覚でのスピーディなリアル展開を実現。
- **確実な合意形成を生むメッセージング：**申請から実際の展示開始までの間、インラインのメッセージ機能により、商品の配送スケジュールや、ディスプレイの細かな調整についてHostと直接すり合わせが可能です。

トラブルを未然に防ぐ高度なトランザクションフロー

ReUai Nikaにおける最大の特徴の一つが、実務上の運用摩擦を極限まで排除した安全な取引プロセスです。Brandが出店申請を送信した段階で、クレジットカードの「与信（決済枠の仮押さえ）」が実行されます。この段階ではまだ実際の決済は発生していません。

その後、メッセージ機能を用いて「商品のサイズが物理的に棚に収まるか」「配送のタイミングに問題はないか」などの詳細を確認し合います。万が一、ここで「世界観の不一致」や「スペースの不適合」が発覚した場合は、Hostが申請を拒否、あるいはBrandが申請を取り消すことで、**実際の決済を一度も走らせることなく、安全に与信枠が解放されます。**「お金を支払った後の返金・キャンセル処理」という、最も事務コストがかかりトラブルになりやすいプロセスを設計レベルで根本から無効化しています。

固有QRアトリビューションによるオフラインの可視化

ReUai Nikaは、単なる「不動産の仲介」や「スペースの貸し借りツール」ではありません。これまで完全にブラックボックス化されていた「現実空間における生活者の行動ログ」を完全にデータ化する、データソリューションです。

オフラインからオンラインへのトラフィック計測

マッチングが成立すると、出店スロットごとに完全に独立した「固有トラッキングQRコード」がシステムから自動発行されます。BrandはこのQRコードを添えて、実店舗のスペースに商品をディスプレイします。

店舗を訪れた消費者が商品に興味を持ち、自分のスマートフォンでQRコードをスキャンした瞬間、プラットフォームはその行動をキャッチします。「どの店舗の、どの棚から、何時何分にユーザーが自社ECサイトへ流入したか」という、実空間における詳細なアクセスログが秒単位で蓄積されていきます。

ECサイト側に設置された購入ピクセルデータとこのログを突合・連携させることにより、これまで「認知拡大」「ブランディング」という曖昧な言葉で片付けられていたリアル出店の成果を、**Web広告と全く同じ「スキャン数（クリック数）」「流入率」「CPA（顧客獲得単価）」「ROI（投資対効果）」という厳密なデジタル指標で100%可視化**します。

データの蓄積がもたらす広告効果の最大化

このトラフィックデータの可視化によって、ブランドは「どの街の、どんな雰囲気のカフェに置くと、自社商品が最も売れるのか」という、オフライン世界における最高のマーケティング方程式を手に入れることができます。

実空間を、触覚と視覚を包括した「体験型のアドネットワーク（広告媒体）」として捉え直す。ECブランドにとっては、管理画面からバナー広告を出稿するのとまったく同じ手軽さで、「ターゲットが集まる特定の空間の棚」という最高のオフライン枠を確保し、その効果を数字で検証しながら最適化していく未来を実装します。

リアル空間をひらき、モノを旅させる。

ReUai Nikaは、感性とデータが美しく融合する、新しいリテールのスタンダードを確立します。